

2019 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	倉富 史枝	職名	特別契約Ⅲ種教授	学位	修士 (文学) (久留米大学 1995 年)
----	-------	----	----------	----	------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
家族社会学 ジェンダー論	近代家族、ジェンダー平等、ドメスティックバイオレンス、セクシュアルハラスメント

研 究 課 題
ジェンダー論に関して社会構造の問題として、力と支配を中心に家庭内や職場という身近な場で起こる暴力問題を考察する。ジェンダー平等を目指した国際的な動向と国内の動向を比較し、なぜ、日本がジェンダギャップが大きいのかを近代化に伴う社会意識の形成と関連づけて考察する。

担 当 授 業 科 目
ジェンダー論 (前期) (英語学科・観光文化学科) キャリア開発 (後期) (保健福祉学部及び人文学部の全学科 1 年次) 女性史 (後期) (保健福祉学部及び人文学部の全学科 2 年以上)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【ジェンダー論】</p> <p>CM映像やアニメや絵本などを教材として使用し、学生の関心を高めた。その後の授業でも、講義以外の生活の場でも学習の目を向けるよう教材を選んだ。英語学科と観光文化学科であることから、国際的な視野で日本の現状の課題を考えられるように教科書を活用した。</p>
<p>授業科目名【キャリア開発】</p> <p>外部講師から多様な分野を視野にいれたキャリア支援ができるよう講話した。</p> <p>双方向の授業として、学生から質問を受け回答するようにし、人数が多いため講師が複数の場合には、教室後部の学生にもマイクをまわした。キャリア形成は個人的課題だが、その背景の社会の構造と結びつけられるよう最後の講義では授業の振り返りに時間を使った。</p>
<p>授業科目名【女性史】</p> <p>ジェンダーの視点で歴史を見直すために、固定観念を覆すような写真や図表を使用した。このような視覚的資料は印刷して配布し、歴史的な流れを説明する際には板書を多用し、ノートをとることで理解を深めるようにした。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
西日本社会学会会員 日本社会分析学会会員		1993 年 9 月～現在に至る 1993 年 10 月～現在に至る

2019年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
こどもCAPふくおか 苅田町 NPO法人福岡ジェンダー研究所 福岡家庭裁判所 福岡家庭裁判所 春日市男女共同参画審議会 福岡県同和問題をはじめとする人権問題に係る啓発・研修講師団 古賀市男女共同参画審議会 大川市男女共同参画推進審議会 福岡県人権施策推進懇話会	代表 男女共同参画推進委員 理事 家事調停委員 参与員 会長 講師 会長 会長 委員	1998年6月～現在に至る 2001年4月～現在に至る 2002年3月～現在に至る 2004年4月～現在に至る 2004年4月～現在に至る 2011年5月～現在に至る 2014年4月～現在に至る 2015年4月～現在に至る 2018年4月～現在に至る 2017年4月～現在に至る

福岡県エイズ・性感染症対策推進協議会	委員	2018年4月～現在に至る
--------------------	----	---------------

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)